平成29年度 財政状況資料集

総括表(市町村)

•	אווו) אנו							指空用大学	の指定状況		区分	平成29年度(千円)	平成28年度(千円)		区分		平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円・%
	都道府県名	福原	岡県	市町	「村類型	п –	- 3	相走凹体令	り相定认流	歳入総額		38, 165, 870	34, 005, 647	実質収支比率			5. 3	3.
								財政健全化等	×	歳出総額		36, 985, 350	33, 243, 356	経常収支比率			92. 9	92.
								財源超過	×	歳入歳出き	-31	1, 180, 520	762, 291	(※1)			(98.7)	(97. 9
	市町村名	宗任	象市	地方交	付税種地	1-	3	首都	×	翌年度に約	越すべき財源	150, 059	128, 030	標準財政規模			19, 504, 571	19, 673, 74
								近畿	×	実質収支		1, 030, 461	634, 261	財政力指数			0. 60	0. 5
		27年国調(人)	96, 516		•			中部	×	単年度収支	:	396, 200	285, 119	公債費負担比率			14. 8	13.
	人口	22年国調(人)	95, 501		産	業構造 (※5)		過疎	0	積立金		152, 838	220, 377	健全化判断比率				
		增減率 (%)	1, 1					山振	×	繰上償還金	:	676, 040	0	実質赤字比率			-	
		30.01.01(人)	97, 317	[2	区分	27年国調	22年国調	低開発	×	積立金取削	iし額	430, 000	350, 000	連結実質赤字比率			-	
		うち日本人(ノ	96, 722			1, 413	1, 599	指数表選定	0	実質単年度	収支	795, 078	155, 496	実質公債費比率			0.3	0
住	民基本台帳人口	29.01.01(人)	96, 882	F	第1次	3. 4	4. 1			1				将来負担比率			-	
	(※7)	うち日本人(ノ	96, 303			8, 801	8, 036			基準財政収	!入額	9, 514, 655	9, 461, 045	資金不足比率(※4)				
		增減率 (%)	0. 4	F	第2次	21. 3	20. 4			基準財政課	要額	15, 602, 134	15, 739, 198					
		うち日本人(%	6) 0.4			31, 134	29, 825			標準税収力	額等	12, 031, 524	11, 953, 621					
	面積(km)		119. 92	第	育3次	75. 3	75. 6			経常経費充	当一般財源等	18, 167, 885	18, 165, 009					
人	口密度(人/k㎡)		805		L					歳入一般則		23, 727, 823	22, 158, 225					
1	世帯数 (世帯)		38, 995	1														
				職員の	状況 (※8))		I		1								
	区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均									
		~~	給料月額(百円)	般		L/1	(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現在	高	25, 707, 823	24, 934, 052					
特 別 職	市区町村長	1	8, 480	職	一般職員	i	372	1, 154, 688	3, 104	うち公的	資金	7, 575, 205	7, 514, 383					
	副市区町村長	1	6, 810	員等	うち消	防職員	-	_		- 債務負担行	為額 (支出予定額)	4, 528, 156	2, 605, 993					
	教育長	1	6, 380	~	うち技	能労務職員	-	_		- 収益事業収	入	-	-					
等	議会議長	1	5, 330	* 6	教育公務	員	7	26, 705	3, 815	土地開発基	金現在高	-	-					
	議会副議長	1	4, 740	Ü	臨時職員	ı	-	_		- ** + ^	財政調整基金	5, 937, 895	6, 215, 057					
	議会議員	18	4, 410		合計		379	1, 181, 393	3, 117	現任局	減債基金	2, 922, 265	3, 499, 521					
					ラスパイレ	ス指数			96. 1		その他特定目的基金	10, 598, 786	9, 706, 086					
一般 項番	会計等の一覧	会計名	事業 項番	会計の一	-覧	会計名		公営企業 (法適) 項番	の一覧 会計名		公営企業(法非適)の一覧 項番 名	覧 会計名	関係する一部事務組 項番	l合等一覧 組合等名		地方公社・第3 項番	三セクター等一覧 団体名	(*3)
(1)	一般会計		(3)	国民健康	康保険特別会	会計 (事業勘定)		(8) 下水道事業	≩ 計		(9) 渡船事業特別会計		(11) 玄界環境組合	一般会計)		(21) 宗像ユリ	ックス	
(2)	住宅新築資金等貸付	事業特別会計	(4)	国民健康	康保険特別会	会計(直営診療施	設勘定)				(10) 漁業集落排水処理施設	投事業特別会計	(12) 福岡県市町村消 般会計)	防団員等公務災害補償約	且合(一	(22) 西日本新	聞TNC宗像文化サークル	
			(5)	後期高齢	命者医療特別	会計							(13) 福岡県市町村職	員退職手当組合(一般会	計)	(23) 宗像市土	地開発公社	
			(6)	介護保防	食特別会計	(保険事業勘定)							(14) 福岡県市町村職計)	員退職手当組合(基金特	寺別会			
			(7)	介護保険	食特別会計	(介護サービス事	業勘定)						(15) 福岡地区水道企	業団(水道用水供給事業	美会計)			
													(16) 宗像地区事務組	合 (一般会計)				
													(17) 宗像地区事務組 計)	合(急患センター事業特	寺別会			
													(18) 宗像地区事務組	合 (水道事業会計)				
													中华地西本牧师	A (土自然日北塔市安約	+ = 1 .			
													(19) 赤塚地区争務報 計)	合(大島簡易水道事業特	可测云			

- (注釈) ※1:経営収支比率の()内の数値は、「減収補換債 (特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2:各会計の一覧は主な会計 (10会計まで) を記載している。
 ※3:地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。
 ※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5:産業構造の比率は、分母を就来人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6:個人情報保護の親点から、対象となる場合数が人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク (*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン (一)としている)。
 ※7:人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

 - ※8:職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年間査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。口

福岡県宗像市

(1) 華通合計の状況(市町村)

歳入の					地方税の			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	10, 259, 908	26. 9	9, 778, 643	53. 1	普通税	9, 746, 989	95. 0	47, 268
地方譲与税	340, 807	0.9	340, 807	1. 9	法定普通税	9, 746, 989	95. 0	47, 268
利子割交付金	21, 412	0.1	21, 412	0. 1	市町村民税	5, 102, 275	49. 7	47, 268
配当割交付金	55, 351	0.1	55, 351	0.3	個人均等割	157, 286	1.5	-
株式等譲渡所得割交付金	58, 507	0. 2	58, 507	0.3	所得割	4, 541, 216	44. 3	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	165, 155	1.6	-
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	_	法人税割	238, 618	2. 3	47, 268
地方消費税交付金	1, 529, 667	4. 0	1, 529, 667	8. 3	固定資産税	3, 938, 118	38. 4	
ゴルフ場利用税交付金	36, 197	0.1	36, 197	0. 2	うち純固定資産税	3, 932, 491	38. 3	
特別地方消費税交付金	· –	_	· -	_	軽自動車税	218, 213	2. 1	
自動車取得税交付金	125, 013	0.3	125, 013	0.7	市町村たばこ税	488, 383	4.8	
軽油引取税交付金	_	_	_	_	鉱産税	_	_	
地方特例交付金	72, 555	0. 2	72, 555	0.4	特別土地保有税	-	_	
地方交付税	7, 004, 694	18. 4	6, 321, 821	34. 4	法定外普通税	-	_	
普通交付税	6, 321, 821	16.6	6, 321, 821	34. 4	目的税	512, 919	5. 0	
特別交付税	682, 873	1.8	-	_	法定目的税	512, 919	5. 0	
震災復興特別交付税	-	_	_	_	入湯税	31, 654	0.3	
(一般財源計)	19, 504, 111	51.1	18, 339, 973	99. 7	事業所税	-	-	
交通安全対策特別交付金	18, 116	0. 0	18, 116	0. 1	都市計画税	481, 265	4.7	
分担金・負担金	624, 632	1.6	-	-	水利地益税等	- 101, 200		
使用料	172, 942	0. 5	35, 063	0. 2	法定外目的税	_	_	
手数料	335, 929	0. 9	-	-	旧法による税	_	_	
国庫支出金	5, 932, 132	15. 5	_	_	合計	10, 259, 908	100.0	47, 268
国有提供交付金(特別区財調交付金)		-	_	_		10, 200, 000		.,, 200
都道府県支出金	2, 726, 129	7. 1	_	_	区分	平成29年度	 	平成28年度
財産収入	553, 575	1.5	5, 543	0.0	/ \ A=1	99. 2	97. 0	99. 2 96. 9
寄附金	1, 563, 752	4. 1	- 0,010	- 0.0	徴収率 現 → → → → → → → → → → → → → → → → → →	99. 3	98. 0	99. 2 97. 9
繰入金	1, 337, 283	3. 5	_	_	(%) 年 新 前 村民代 純固定資産税	99. 1	95. 3	99. 1 95. 1
繰越金	762, 291	2. 0	_	_	「「「日本 ス 注 九	00.1	55.0	JJ. 1 JU. 1
諸収入	452, 678	1. 2	_	_	公営事業等への繰出	国民健康	東保険事業会	計の状況
地方債	4, 182, 300	11. 0	_	_	合計 4, 305, 498		~~~~	397, 002
った減収補塡債(特例分)	-1, 102, 300		_	_	下水道 655.775			222, 042
うち臨時財政対策債	1, 151, 200	3. 0	_	_	上水道 266.370)	12, 708
歳入合計	38, 165, 870	100.0	18, 398, 695	100.0	簡易水道 28,322		,	20, 635
90r 1 m n .	55, 155, 570		. 5, 555, 500		工業用水道	_ /₽ №	競税(料)収入	
					国民健康保険 840,075	微体陝石] 🖂	を	114
					その他 2,514,956		₽ 文給付費	336
(注എ)					2,014,000	CWB	NTH 11 3/2	000

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

B的別歳出の状況 (単位 千円・%) 接続費		歳出の	状況(単	位 千円・%)			
接続性 大学額 (A)							
Reserve	区分				建設事業費	(A) のうち折	5.当一般財源等
民生費 12,846,140 34,7 155,677 5,700,7 衛生費 3,209,894 8,7 6,275 2,604,11 労働費 10,010 0.0 - 10,0 農林水産業費 1,223,603 3,3 738,332 363,3 商工費 1,302,524 3,5 653,224 426,3 土木費 3,390,334 9,2 1,941,820 1,969,2 消防費 1,035,563 2,8 64,598 986,6 教育費 4,179,795 11.3 1,499,321 2,561,0 公債費 3,528,450 9,5 - - - 協出合計 36,985,350 100.0 5,330,411 22,547,3 医分 大賽額 構成化 - - - - - 養務的経費計 16,034,602 43.4 9,381,213 8,653,432 44 人件費 3,895,991 10.5 3,609,156 3,557,415 18 うち職員給 2,477,329 6,7 2,238,283 - - - 大助費 8,610,169 23.3 2,270,509 2,270,509 11 公債費 3,528,442 9,5 3,501,548 2,825,508 14 丙 3,538,442 9,5	議会費	249, 712	0.7		-		249, 672
民生費 12,846,140 34,7 155,677 5,700,7 衛生費 3,209,894 8,7 6,275 2,604,11 労働費 10,010 0.0 - 10,0 農林水産業費 1,223,603 3,3 738,332 363,3 商工費 1,302,524 3,5 653,224 426,3 土木費 3,390,334 9,2 1,941,820 1,969,2 消防費 1,035,563 2,8 64,598 986,6 教育費 4,179,795 11.3 1,499,321 2,561,0 公債費 3,528,450 9,5 - - - 協出合計 36,985,350 100.0 5,330,411 22,547,3 医分 大賽額 構成化 - - - - - 養務的経費計 16,034,602 43.4 9,381,213 8,653,432 44 人件費 3,895,991 10.5 3,609,156 3,557,415 18 うち職員給 2,477,329 6,7 2,238,283 - - - 大助費 8,610,169 23.3 2,270,509 2,270,509 11 公債費 3,528,442 9,5 3,501,548 2,825,508 14 丙 3,538,442 9,5			16. 2		271, 164		4, 169, 790
新生費							5, 700, 743
大学の報告							2, 604, 194
農林水産業費 1,223,603 3,3 738,332 363,3 商工費 1,302,524 3,5 653,224 426,3 土木費 3,390,334 9,2 1,941,820 1,969,2 消防費 1,035,563 2,8 64,598 986,6 教育費 4,179,795 11.3 1,499,321 2,561,00 公債費 3,528,450 9,5 - - 4,6 公債費 36,985,350 100.0 5,330,411 22,547,30 医分 決算額 構成比 大生一般財源等 経常経費充当一般財源等 経常収支比 養務的経費計 16,034,602 43.4 9,381,213 3,557,415 18 力ち職員給 2,477,329 6,7 2,238,283 - - - 大時費 8,610,169 23.3 2,270,509 2,270,509 11 11 公債費 3,528,442 9,5 3,501,548 2,825,508 14 万計 3,528,442 9,5 3,501,548 2,825,508 14 万計 3,528,442 9,5 3,501,548 2,825,508 14 万計 3,408							10, 010
Range					730 333		
上大費							
消防費							
教育費 災害復旧費 (3,528,450) 4,179,795 (6,612) 11.3 (0.0) 1,499,321 (4,62) 2,561,0 (4,62) 諸支出金 前年度繰上充用金 歳出合計 36,985,350 100.0 5,330,411 22,547,30 医分 養務的経費計 (九件費 (5,5 8) (5,5 8) (5,5 8) (5,5 8) (6,612) (7,5 8) (7,5							
災害復旧費 公債費 6,612 3,528,450 0.0 9.5 100.0 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -							
公債費					1, 499, 321		
諸支出金 前年度繰上充用金 歳出合計 36,985,350 100.0 5,330,411 22,547,3					-		
新年度繰上充用金 36,985,350		3, 528, 450	9.5		-		3, 501, 556
大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大		-	-		-		-
性質別歳出の状況 (単位 千円・%)			-				-
区分 決算額 構成比 充当一般財源等 経常経費充当一般財源等 経常経費充当一般財源等 経常収支比 養務的経費計 16,034,602 43.4 9,381,213 3,653,432 44.2 45.009,156 3,557,415 18.653,432 44.2 45.2	歳出合計	36, 985, 350	100.0		5, 330, 411		22, 547, 303
区分 決算額 構成比 充当一般財源等 経常経費充当一般財源等 経常経費充当一般財源等 経常収支比 養務的経費計 16,034,602 43.4 9,381,213 3,653,432 44.2 45.009,156 3,557,415 18.653,432 44.2 45.2							
養務的経費計 16,034,602 43.4 9,381,213 8,653,432 44.							
大件費					経常経費充		
うち職員給 扶助費 2,477,329 6,7 2,238,283 - 大助費 公債費 8,610,169 23.3 2,270,509 2,270,509 九村償還金 內 うち元金 3,528,442 9.5 3,501,548 2,825,508 14 內 うち元金 別 日一時借入金利子 119,913 0.3 119,854 119,854 119,854 119,854 119,854 119,854 0 その他の経費 物件費 15,613,725 物件費 42.2 12,051,969 32,191 9,514,453 48 維持補修費 前助費等 82,191 0,2 76,064 4,267,113 76,064 3,258,974 76,064 16 0 うち一部事務組合負担金 2,405,491 6,5 2,405,491 2,378,616 12							44. 3
扶助費						3, 557, 415	18. 2
公債費						-	-
元利償還金 3,528,442 9,5 3,501,548 2,825,508 14 5,554 2,705,654 13 3,548 2,554 2,705,654 13 3,548 2,548 2,705,654 13 19,913 0.3 119,854 0 0.6 0							11. 6
内 うち元金 記 うち利子 3,408,529 119,913 9.2 0.3 119,854 - - での他の経費 3,381,694 119,854 - - - での他の経費 2,705,654 119,854 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -							14. 5
フェラ カー							14. 5
ー時借入金利子 その他の経費 15,613,725 42.2 12,051,969 9,514,453 48 物件費 5,033,319 13.6 3,891,743 3,616,762 18 維持補修費 82,191 0.2 76,064 76,064 0 補助費等 5,276,651 14.3 4,267,113 3,258,974 16 うち一部事務組合負担金 2,405,491 6.5 2,405,491 2,378,616 12		3, 408, 529		3, 381, 694			13. 8
その他の経費 15,613,725 42.2 12,051,969 9,514,453 48 物件費 5,033,319 13.6 3,891,743 3,616,762 18 維持補修費 82,191 0.2 76,064 76,064 76,064 補助費等 5,276,651 14.3 4,267,113 3,258,974 16 うち一部事務組合負担金 2,405,491 6.5 2,405,491 2,378,616 12	訳 うち利子	119, 913	0.3	119, 854		119, 854	0. 6
物件費 5,033,319 13.6 3,891,743 3,616,762 18 維持補修費 82,191 0.2 76,064 76,064 0 補助費等 5,276,651 14.3 4,267,113 3,258,974 16 うち一部事務組合負担金 2,405,491 6.5 2,405,491 2,378,616 12	一時借入金利子	-	-	-		-	-
維持補修費 82,191 0.2 76,064 76,064 1 14.3 4,267,113 3,258,974 16. 55ー部事務組合負担金 2,405,491 6.5 2,405,491 2,378,616 12	その他の経費	15, 613, 725	42. 2	12, 051, 969		9, 514, 453	48. 7
補助費等 5,276,651 14.3 4,267,113 3,258,974 16 うち一部事務組合負担金 2,405,491 6.5 2,405,491 2,378,616 12	物件費	5, 033, 319	13.6	3, 891, 743		3, 616, 762	18. 5
補助費等 5, 276, 651 14.3 4, 267, 113 3, 258, 974 16 うち一部事務組合負担金 2, 405, 491 6.5 2, 405, 491 2, 378, 616 12	維持補修費	82, 191	0. 2	76, 064		76, 064	0.4
うち一部事務組合負担金 2,405,491 6.5 2,405,491 2,378,616 12	補助費等	5, 276, 651		4, 267, 113		3, 258, 974	16. 7
	うち一部事務組合負担金						12. 2
繰出金 3.440.666 9.3 2.819.327 2.562.653 13	繰出金	3, 440, 666	9. 3	2, 819, 327		2, 562, 653	13. 1
積立金 1,375,565 3.7 993,189 -						_,	_
投資·出資金·貸付金 405, 333 1.1 4, 533 -						_	_
放兵 山真並 真竹並 100,000 11 7,000		400, 000	· · · · -	4, 000			
投資的経費計 5,337,023 14.4 1,114,121		5 337 023	1//	1 11/ 121			
55,114 0.1 55,114							
一 15人件資 35,114 0.1 35,114 1.109.450							
内 うち補助 2,529,707 6.8 190,631 21 25 25 25 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27							
音 うち単独 2,722,370 7.4 901,785	□ つろ単独						
次音復旧事業貧	災告復旧争耒貧	6, 612	0.0	4, 6/1			
失業対策事業費			100.0				
蔵田合計 36,985,350 100.0 22,547,303	蔵出台計	36, 985, 350	100.0	22, 547, 303			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

MAII 100MANO(TE: DOTT)								_
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	38,196	37,018	1,178	1,028	1,367	25,767		
2 住宅新築資金等貸付事業特別会計	10	8	2	2	-	1		
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤
計 一般会計等(純計)	38,166	36,985	1,181	1,030		25,768		

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

				100 시 조리 시 하다	/IL A =1 Mr	人业店	+		
会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計(事業勘定)	12,013	11,616	397	397	830	-	-	-	
2 国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)	77	76	1	1	27	6	-	-	
3 後期高齢者医療特別会計	1,539	1,493	46	46	309	-	-	-	
4 介護保険特別会計(保険事業勘定)	7,700	7,526	174	174	1,107	-	-	-	
5 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	29	29	-	-	-	-	-	-	
6 下水道事業会計	2,774	2,306	469	1,227	598	9,697	3,142	-	法適用企業
7 渡船事業特別会計	717	699	18	18	-	896	132	-	法非適用企業
8 漁業集落排水処理施設事業特別会計	309	309	0	0	57	329	329	-	法非適用企業
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
# 公営企業会計等				1,863		10,928	3,603		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	玄界環境組合(一般会計)	4,336	4,171	165	76	49	1,088	931	
2	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)	90	90	0	0	2	-	-	
3	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)	11,954	11,741	213	213	-	-	-	
4	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)	59	59	-	-	-	-	-	
5	福岡地区水道企業団(水道用水供給事業会計)	11,582	10,416	1,166	8,776	-	17,701	0	
6	宗像地区事務組合(一般会計)	2,114	2,050	64	64	-	1,068	614	
7	宗像地区事務組合(急患センター事業特別会計)	273	250	23	23	-	137	80	
8	宗像地区事務組合(水道事業会計)	3,250	2,697	553	4,537	-	3,304	90	
9	宗像地区事務組合(大島簡易水道事業特別会計)	81	81	0	0	-	239	143	
10	福岡県自治振興組合(一般会計)	204	195	9	9	16	ı	ı	
11	福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)	66	66	ı	-	-	ı	ı	
12	福岡都市圏広域行政事業組合(一般会計)	128	107	21	21	-	ı	ı	
13	福岡都市圏広域行政事業組合(競艇事業特別会計)	3,351	3,351	-	-	-	1	1	
14	福岡都市圏広域行政事業組合(流域連携事業特別会計)	27	27	ı	-	26	ı	ı	
15	福岡県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	247	205	42	42	53	ı	ı	
16	福岡県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	758,744	730,814	27,930	27,930	-	-	-	
17									
18									
19		, and the second							
20									
81	一部事務組合等				41,691		23,537	1,858	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

2 西日本新聞TNC宗像文化サークル 3 宗像市土地開発公社

1 宗像ユリックス

経常損益 純資産又は 正味財産

240

▲ 274

▲ 2

平成29年度

103

337

福岡県宗像市

March Marc	
Description	
Description	
Description	
The content of the	+
No.	1
Part	
Description	<u> </u>
No. No.	
	-
Page	†
Column	
C	
Column C	
No. No.	
No. No.	
Registration Regi	
A	
Record R	
10 10 10 10 10 10 10 10	
S	
51	
53	
84	
55	
57	
57	
59	
60 0	
61 0	
62	
63 64 7 7 7 7 7 7 7 7 7	
66	+
66	
67	
66	
60 70 71 72 73 74 75 76	
70	
72 73 74 75 76	
73 74 25 76	
24 75 76	
75 76	
76	
78	
80	
81 82 82 8	
# 地方公社·第三セクター等 20 - 337 103 -	
※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。	
※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、〇印を付与している。	
将来負担比率 (千円・%) 平成27年度 平成28年度 平成29年度 分母比 内訳 平成27年度 平成28年度 平成28年度 平成29年 (160.1 PFI事業に係るもの)	

102,194

3,974,350

133,468

118,851

3,566,603

197,953

205,427

102,758

3,141,794

328,801

131,667

19.5

2.0

0.8

公信	責費負担の状況					将来負担の	の状況										
	実質公債費比率	(千円・%)					将来負担比率 (千円·%))	_	
	区分	平成27年	度 平成28年度	平成29年度	分母比	区分 平成			平成27年度	平成28年度	平成28年度 平成29年度 分母比			内訳			
元和	刊償還金	2,806,	49 2,798,644	2,652,402	16.5	将来負担	額 一般会計等に係	系る地方債の現在高	5	25,538,155	24,994,052	25,767,822	160.1	F	PFI事業	とに係るもの	T
滅債	責基金積立不足算定額	3,	33 3,333	3,333	0.0		債務負担行為に	基づく支出予定額		102,194	102,502	102,758	0.6		いわゆる	る五省協定等に係るもの	
準	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	33,	33,333	26,667	0.2		公営企業債等網	操入見込額		4,226,669	3,969,983	3,602,262	22.4		国営土:	地改良事業に係るもの	
元	公営企業債の元利償還金口対する繰入金	422,	43 398,541	373,880	2.3		組合等負担等見	已込額		2,156,881	1,745,771	1,857,366	11.5	債務	森林総	合研究所等が行う事業に係るもの	
利償	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	569,	87 496,733	170,105	1.1		退職手当負担見	已込額		2,549,200	2,522,793	2,169,674	13.5	負:	地方公	務員等共済組合に係るもの	
還	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	346,	00 375,789	378,708	2.4		設立法人等の負	負債額等負担見込額	Ą	-	-	-	-	担	依頼土:	地の買い戻しに係るもの	
金	一時借入金の利子			-	-		うち、健全化法施行	庁規則附則第三条に係る	負担見込額	-	-	-	-	行為	社会福	祉法人の施設建設費に係るもの	
	승計	(A) 4,181,	45 4,106,373	3,605,095			連結実質赤字額	Į.		-	-	-	-	-11.5	損失補	償・債務保証の履行に係るもの	
	内訳	平成27年	度 平成28年度	平成29年度	分母比		組合等連結実質	賃赤字額負担見込 額	Ą	-	-	-	-	1	引き受け	けた債務の履行に係るもの	
	PFI事業に係るもの			-			合計		(E)	34,573,099	33,335,101	33,499,882		-	その他。	上記に準ずるもの	
l	いわゆる五省協定等に係るもの			-	-	充当可能 財源等				15,761,521	16,253,467	16,297,012	101.3			下水道事業会計	T
债	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係る	もの		-	-	別源寺	充当可能特定	5入		2,785,836	3,144,871	3,541,503	22.0			漁業集落排水処理施設事業特別会計	
務	地方公務員等共済組合に係るもの			-	-		基準財政需要額	頁算入見込額		35,693,891	35,223,726	34,602,373	215.0	企業	債等 見込額	渡船事業特別会計	
負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの			-	-		合計		(F)	54,241,248	54,622,064	54,440,888		100712	/C.~_ IIX		
行	損失補償・債務保証の履行に係るもの			-	-	将来負担	比率((E)-(F))/((C)-(D)) × 100		-	-	-				その他の会計	
為	引き受けた債務の履行に係るもの			-	-											地方道路公社に係る将来負担額	T
	その他上記に準ずるもの	329,	61 363,234	371,223	2.3									公	社・	土地開発公社に係る将来負担額	
ĺ	利子補給に係るもの	17,	39 12,555	7,485	0.0		健全化判断比率	平成29年度	早期健全	化基準 財	政再生基準			Ξセ	ク等	地方独立行政法人に係る将来負担額	
特定	E財源の額	(B) 369,	88 365,254	320,435		実	質赤字比率	-		12.52	20.00					その他第三セクター等に係る将来負担額	
標準	車財政規模	(C) 19,746,	73 19,673,746	19,504,571		連	結実質赤字比率	-		17.52	30.00		•				
算ノ	、公債費等の額	(D) 3,647,	06 3,586,092	3,412,563		実	質公債費比率	0.3		25.0	35.0						
ĺ	(C)-	-(D) 16,098,	67 16,087,654	16,092,008		将	来負担比率	-		350.0							
実質	f公債費比率 (単年	度)	1.0 1.0	▲ 0.8		1 <u> </u>											
)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100 (3ヵ年 ³	型均)	0.4	0.3													

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

97, 317 人(H30. 1. 1現在) うち日本人 96, 722 人(H30. 1. 1現在) 連結実質赤字比率 96 119.92 実 質 公 債 費 比 率 38, 165, 870 Х 千円 帮来 負担 比率 4 36, 985, 350 千円 ж 数 類 H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3 費収 1 030 461 千四 H28 H29 II - 3 19.504.571 千円 25, 707, 823 千円

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

- ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※「人件書・物件書等の状況」の決算額は、人件書、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
- ※「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において 平成30年調査核要が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。
- ※人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力 財政力指数 [0.60]

類似団体内線位 全国平均 福岡県平均 67/85 0.51 0.53

財政力指数の分析標

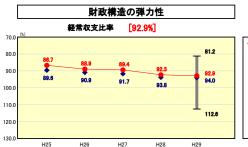
3カ年平均では、前年度と比べ0.1ポイント増加。定住化施策の推進及び企業誘致による税収の増加対策を継続して実施していく一方、歳出においては、歳入に見合った事業実施に努め、健全な財政運営を図っていく。

● 当該団体値

類似団体内平均値

類似団体内の

最大値及び最小値



人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [89.841円]

106,015

H27

107 902

H28

182,562

H29

30,00

60.00

90,000

120.00

150 00

180,000

210.000

120,327

H25

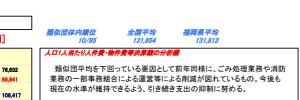
121,312

H26

類似団体内側位 全国平均 福岡県平均 33/85 92.8 94.1

経常収支比率の分析機

前年度と比べ0.6ポイント増加し、7年連続の上昇且つ過去最高値となる。 要因としては、前年度と同様、物件費・扶助費の増加があげられる。今後は、 全庁的に既存事業の見直しを推進し、当市の財政収支計画に沿った予算 統制を行い、歳出の加制に努める。



平成29年度

福岡県宗像市



類似団体内順位 全国平均 福岡県平均 1/85 33.7 78.8

2本会切り室の公析場

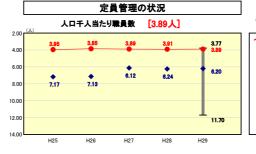
現在までのところ、充当可能財源が将来負担額を上回っている。今後も 宗像市財政安定化プランに示している通り、計画的な繰上償還を行うととも に、財政調整基金の取り崩しを抑制するなど、充当可能財源の維持に努め る。



類似団体内領位 全国平均 福岡県平均 6/85 6.4 9.0

実質公債費比率の分析機

平成29年度は元利償還金等を算入公債費等が128百万円上回ったため、 前年度に比べポイントが減少している。今後も、現在の水準の維持に努め る。



H27

H28

H29

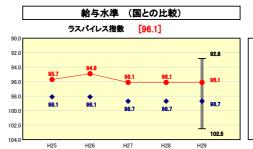
H25

H26

類似団体内順位 全国平均 福岡県平均 2/85 7.91 7.92

人口千人当たり職員数の分析機

平成29年度は平成28年度数値を引用(職員数:平成28年度数値、人口: 平成30年1月1日現在の人口)。なお、平成29年度類似団体関連数値(平均値、最大値及び最小値、順位)は、平成29年度の選定団体によるもの。



類似団体内膜位 全国市平均 全国町村平均 12/85 99.1 96.4

ラスパイレス指数の分析機

平成29年度は平成28年度数値を引用。なお、平成29年度類似団体関連 数値(平均値、最大値及び最小値、順位)は、平成29年度の選定団体によ るもの。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

福岡県宗像市

経常収支比率の分析



福岡県平均

福岡県平均

福岡県平均

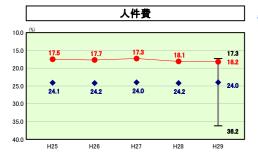
18.6

13 8

25.3

類似団体内の

- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位

前年度と同様、非常勤職員などの臨時職員に係る経費の増加 に伴うポイント増である。今後も引き続き、適正な定員管理を行 い、更なる人件費の抑制を図る。

全国平均



類似団体内順位 扶助着の分析機

扶助費の増加の要因として、私立保育所施設型給付費の増加 が挙げられる。扶助費については、今後も適正な資格審査の実 施などを行い、上昇傾向に歯止めをかける。

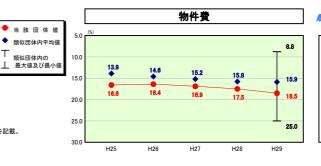
全国平均



着似用体内槽份

大型事業が完了を迎え、公債費が前年度より低下したことによ る減少。投資的事業は概ね完了したことから、地方債現在高は 減少していく見込みだが、将来世代への負担を考慮した財政運 営を実施していく。

全国平均



類似团体内順位 67/85

全国平均

13.7

福岡県平均

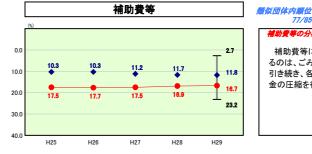
福岡県平均

福岡県平均

127

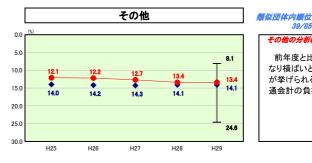
10.0

民間委託を積極的に導入して、人件費の圧縮に努めてきたこと から、物件費に係る経常収支比率が高い傾向にある。今後も民 間委託等を推進する一方で、経常経費の節減に努める。



補助費等に係る経常収支比率が類似団体の平均を上回ってい るのは、ごみ処理業務を担う一部事務組合に対するものが多い。 引き続き、各団体等への補助金の適正化や企業会計への繰出 金の圧縮を行い、経費の縮減に努めていく。

全国平均



前年度と比べ決算額は減少したものの、経常的経費は増加と なり横ばいとなった。要因としては下水道事業会計繰出金の増加 が挙げられる。今後も各特別会計の適正な財政運営を図り、普

全国平均



公信誉以外の分析機

類似团体内順位

前年度と比べて1.2ポイント上昇している。要因として、物件費及 び扶助費の増加が挙げられる。物件費については経常経費の見 直しの徹底を行い、扶助費については資格審査等の適正化を図 り、抑制に努める。

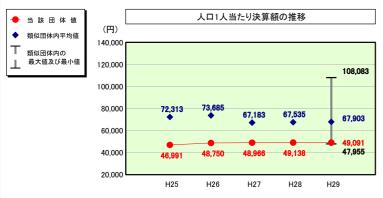
全国平均

その他の分析権

通会計の負担額を減らしていくよう努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



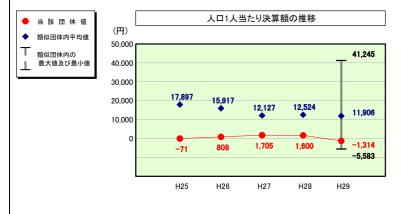
.人件費及び人件費に準ずる費用				
	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	Ą
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	3, 895, 991	40, 034	57, 316	▲ 30.2
賃金(物件費)	150, 357	1, 545	3, 762	▲ 58.9
一部事務組合負担金(補助費等)	715, 580	7, 353	6, 408	14. 7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	23, 300	239	891	▲ 73. 2
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	1	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	260, 658	2, 678	2, 694	
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	55, 114	566	1, 362	▲ 58.4
▲退職金	▲ 323, 581	▲ 3, 325	▲ 4, 530	▲ 26.6
合計	4, 777, 419	49, 091	67, 903	▲ 27.7

類似団体平均 対比(差引) 人口1,000人当たり職員数(人) **▲** 2.31 ラスパイレス指数 96. 1 **▲** 2.6

(注)人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

(注)参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

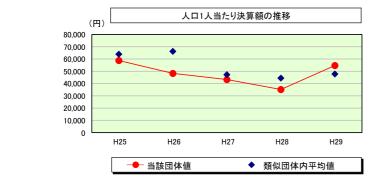


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額		人口1人当たり決算額				
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)			
元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	2, 652, 402	27, 255	34, 720	▲ 21.5			
積立不足額を考慮して算定した額	3, 333	34	1	3, 300. 0			
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	26, 667	274	22	1, 145. 5			
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	373, 880	3, 842	9, 232	▲ 58.4			
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	170, 105	1, 748	2, 017	▲ 13.3			
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	378, 708	3, 891	1, 146	239. 5			
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-			
▲特定財源の額	▲ 320, 435	▲ 3, 293	▲ 6, 713	▲ 50.9			
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 3, 412, 563	▲ 35,066	▲ 28,519	23. 0			
스타 V.T. 2005 변수 (CT In the Office of Office o	▲ 127, 903		11, 906	▲ 111.0			

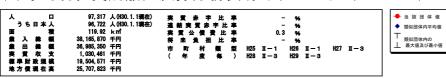
※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

1 世代以子 不見							
		当該団体決算額		Y	、口1人当たり決算額	Ą	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
H25		5, 677, 874	58, 770	5. 4	63, 956	25. 7	▲ 20.3
	うち単独分	3, 040, 821	31, 475	▲ 9.1	29, 239	8. 8	▲ 17.9
H26		4, 676, 700	48, 310		66, 255	3. 6	▲ 21.4
	うち単独分	2, 834, 229	29, 277		31, 822	8. 8	▲ 15.8
H27		4, 185, 908	43, 288	▲ 10.4	47, 278	▲ 28.6	18. 2
	うち単独分	1, 727, 592	17, 865	▲ 39.0	24, 096	▲ 24. 3	▲ 14. 7
H28		3, 407, 176	35, 168	▲ 18.8	44, 504	▲ 5.9	▲ 12.9
	うち単独分	1, 724, 923	17, 804	▲ 0.3	25, 876	7. 4	▲ 7.7
H29		5, 330, 411	54, 774	55. 7	47, 820	7. 5	48. 2 57. 2
	うち単独分	2, 722, 370	27, 974	57. 1	25, 855	▲ 0.1	57. 2
過去5年間平均		4, 655, 614	48, 062	2. 8	53, 963	0. 5	2. 3
	うち単独分	2, 409, 987	24, 879	0. 3	27, 378	0. 1	0. 2



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別曲出の分析機

歳出決算総額は、住民一人当たり380,050円となっている。主な構成項目である扶助費は、住民一人当たり88,475円となっており、類似団体と比較し、 人件費は17,282円低く、補助費等は14,938円高くなっていることが本市の特徴である。これは、ごみ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っているためである。



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



日前御農州の公析機

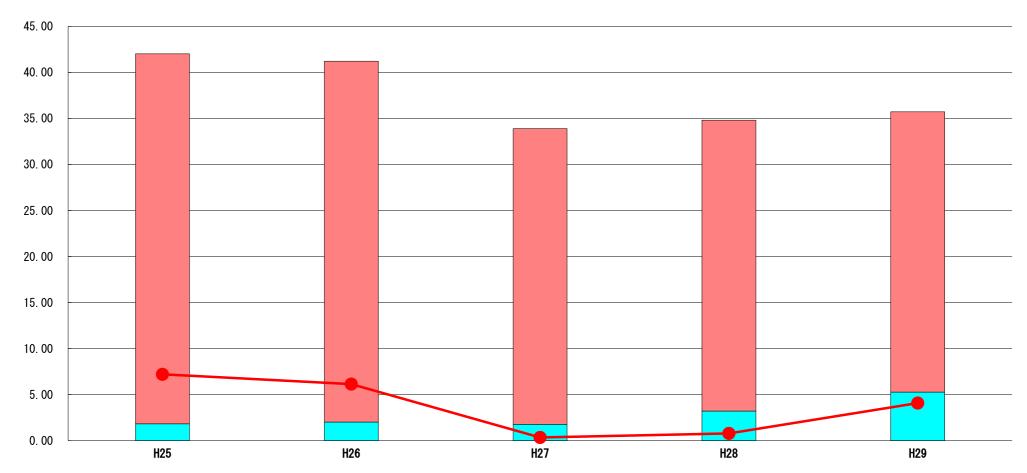
商工費が住民一人当たり、13,384円と前年度以前と比較して高い状況である。また類似団体平均と比べ7,236円高くなっている。道の駅むなかたの観光物産館整備事業費の増加に伴う、普通建設事業費の増加が挙げられる。教育費は、住民一人当たり、42,950円となり前年度に比べ11,793円高くなっている。これは、小中学校などの改修等に伴う、普通建設事業費の増加によるものである。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成29年度

福岡県宗像市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分 年度	H25	H26	H27	H28	H29
財政調整基金残高	40. 18	39. 18	32. 13	31. 59	30. 44
実質収支額	1.83	2. 03	1. 77	3. 22	5. 28
一 実質単年度収支	7. 21	6. 14	0. 35	0. 79	4. 08

分析欄

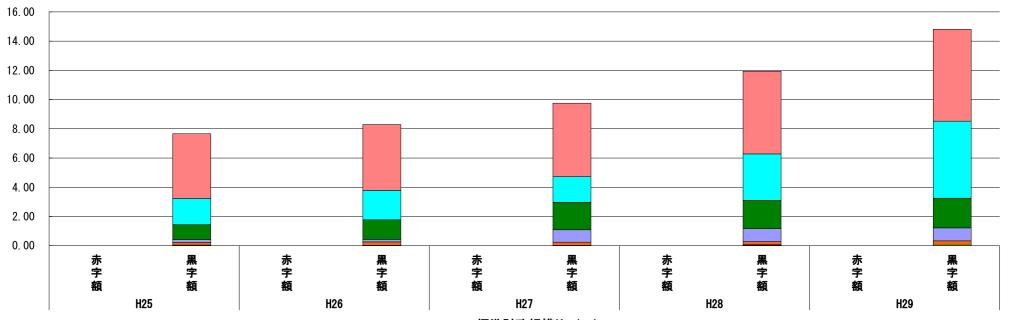
平成29年度は財政調整基金を430百万円取り崩したことにより、1.15ポイント前年度より低下しているが、減債基金及び公共施設等維持更新基金などその他特目基金への積立を2,409百万円おこなっていることから、全体での基金残高は維持しており、実質単年度収支も増加している。財政調整基金残高は、標準財政規模と比して高い水準にあるが、歳入に見合った予算編成により財政調整基金の取り崩しを抑制し、不測の財政需要にも即応し得る体制を維持する。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成29年度

福岡県宗像市

標準財政規模比(%)



標準	財政	規模比	(%)

年	H25	H26	H27	H28	H29
下水道事業会計	4. 43	4. 51	5. 03	5. 66	6. 29
一般会計	1. 79	2. 01	1. 75	3. 18	5. 27
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	1.02	1. 34	1. 88	1. 94	2. 03
介護保険特別会計 (保険事業勘定)	0. 19	0. 17	0. 85	0. 88	0. 89
後期高齢者医療特別会計	0. 19	0. 23	0. 22	0. 21	0. 23
渡船事業特別会計	0.00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 09
住宅新築資金等貸付事業特別会計	0. 02	0. 01	0. 01	0. 03	0. 01
国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	0.00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
その他会計(赤字)	_			-	_
その他会計(黒字)	0. 02	0. 02	0. 01	0. 04	0. 00

分析欄

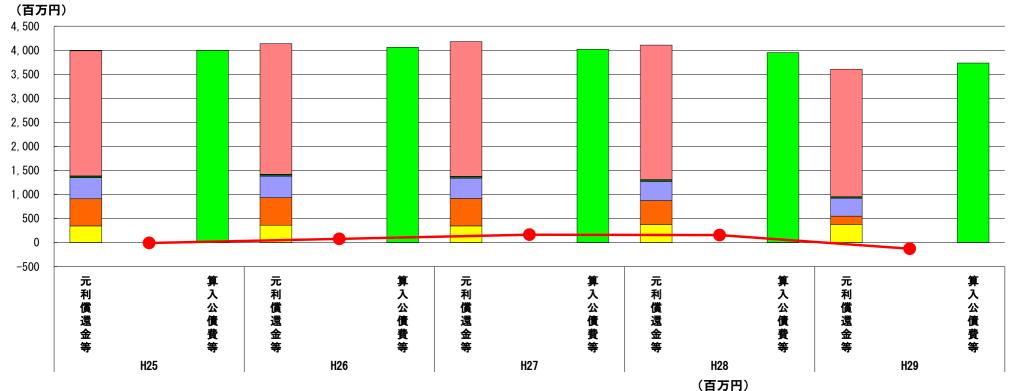
全会計で、黒字を維持しており、引き続き財政の健全化に努め

[※]平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成29年度

福岡県宗像市



_							\ H 731 37
分子の構造			H25	H26	H27	H28	H29
		元利償還金	2, 601	2, 720	2, 806	2, 799	2, 652
		減債基金積立不足算定額	3	3	3	3	3
		満期一括償還地方債に係る年度割相当額	33	33	33	33	27
元利償還金等(A)		公営企業債の元利償還金に対する繰入金	438	448	423	399	374
		組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	566	574	569	497	170
		債務負担行為に基づく支出額	346	360	347	376	379
		一時借入金の利子	-	-	1	-	-
算入公債費等(B)		算入公債費等	3, 995	4, 061	4, 017	3, 951	3, 733
(A) - (B)	•	実質公債費比率の分子	▲ 8	77	164	156	▲ 128

分析欄

宗像市財政安定化プランで計画している通り、計画的な繰上償還を行っていることにより、元利償還金等が減少となった。今後も引き続き計画的な繰上償還を行うとともに、投資的経費を精査したうえで、公債費の増加を抑制するよう努める。

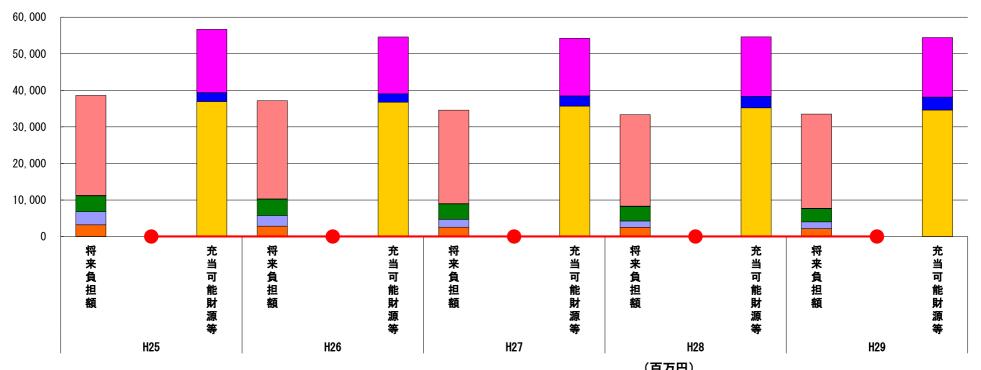
[※]平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成29年度

福岡県宗像市

(百万円)



							(ロルロ/
分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
		一般会計等に係る地方債の現在高	27, 353	26, 841	25, 538	24, 994	25, 768
		債務負担行為に基づく支出予定額	101	102	102	103	103
		公営企業債等繰入見込額	4, 365	4, 412	4, 227	3, 970	3, 602
		組合等負担等見込額	3, 569	2, 966	2, 157	1, 746	1, 857
将来負担額(A)		退職手当負担見込額	3, 209	2, 837	2, 549	2, 523	2, 170
		設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-
		うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-	-
		連結実質赤字額	_	_	-	_	_
		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
		充当可能基金	17, 276	15, 546	15, 762	16, 253	16, 297
充当可能財源等(B)		充当可能特定歳入	2, 464	2, 285	2, 786	3, 145	3, 542
		基準財政需要額算入見込額	36, 935	36, 756	35, 694	35, 224	34, 602
(A) — (B)	-	将来負担比率の分子	▲ 18, 077	▲ 17, 428	▲ 19, 668	▲ 21, 287	▲ 20, 941

分析欄

現在までのところ、充当可能財源等が将来負担額を上回り実質的な将来負担額は発生していない。地方債の現在高においても合併後16年を経過し、大型の投資的事業が概ね完了していることから、今後は減少傾向となる見込みである。引き続き、既存事業の見直しなどによる経常経費の一層の削減によって、充当可能基金の取崩額の抑制に努める。

[※]平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高(東日本大震災分を含む)に係る経年分析(市町村)

(百万円)

25.000 20,000 15,000 10.000 5,000 H27 H28 H29

				(百万円)
区分	年度	H27	H28	H29
	財政調整基金	6, 345	6, 215	5, 938
	減債基金	3, 382	3, 500	2, 922
	その他特定目的基金	9, 308	9, 706	10, 599
	公共施設等維持更新基金	5, 346	5, 645	6, 377
	元気なまちづくり基金	3, 000	3, 000	3, 000
	離島振興基金	500	500	500
	可動井堰維持管理基金	428	426	426
	ふるさと基金	8	114	275
	基金残高合計	19, 034	19, 421	19, 459

平成29年度

福岡県宗像市

基金全体

(増減理由)

財政調整基金及び減債基金は前年度に比べ減少しているが、利子運用による財産収入で基金残高としては、ほぼ横ばいを維持している。

(今後の方針)

基金残高を今後も維持するとともに、宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画に基づく事業については、積極的に公共施設等維持更 新基金を活用していく。

財政調整基金

(慢減理止

公共施設等維持更新基金に振り替えるための計画的な取り崩しにより、前年度と比べ277百万円の減少となっている。

(今後の方針)

歳入歳出の乖離の調整を行えるよう、今後も基金残高を維持していく。

減債基金

(増減理由

計画的な繰上償還の実施により、前年度と比べ578百万円減少となっている。

(今後の方針)

市債残高を考慮しつつ、繰上償還実施の原資とする。

その他特定目的基金

(基金の使途)

公共施設等維持更新基金:市の保有する施設の改修・修繕に活用 ふるさと基金:ふるさと寄付を積立

(増減理由)

宗像ユリックス施設改修事業に充当したが、財政調整基金からの振替による積立により、前年度と比べ増加となった。

(今後の方針)

公共施設等維持更新基金:宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画に基づき、計画的に充当していく。 ふるさと基金:ふるさと寄付による前年度積立額のうち、一定額を翌年取り崩し、計画的に充当していく。

(12)市町村公会計指標分析/財政指標組合せ分析表

平成29年度

福岡県宗像市

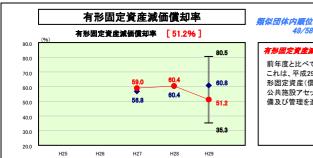
福岡県平均

9.0

97, 317 人(H30. 1. 1現在) うち日本人 96.722 人(H30.1.1現在) 119.92 kmf 実 質 公 債 費 比 率 0.3 38, 165, 870 千円 額 来負担比率 36, 985, 350 千円 類 型 H25 H26 II — 1 H27 II - 3 収 1,030,461 千円 支 H28 π − 3 H29 TI - 3 19.504.571 千円 25, 707, 823 千円

● 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 T 類似団体内の ▲ 最大値及び最小値

- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還可能年数、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



有形固定資産減価償却率の分析欄

49/58

前年度と比べて9.2ポイント減少し、類似団体平均を大きく下回った。 これは、平成29年度に市内小中学校の大規模改造工事が終了し有 形固定資産(償却資産)額が大きくなったためである。今後も、宗像市 公共施設アセットマネジメント推進計画に基づき、各施設の更なる整 備及び管理を進めていく。

全国平均

59.3

福岡県平均

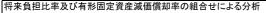
60.3

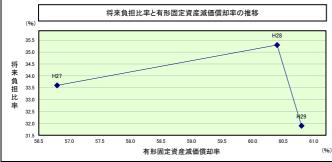


8/85 信務僧還可能年数の分析欄

債務償還可能年数は、2.7年と類似団体内平均値より低い水準にあ る。これは財政調整基金や減債基金などの充当可能基金残高を高い 水準で保有できているためである。

全国平均

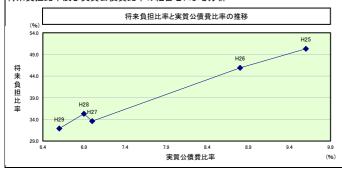




計画的な繰上げ償還を実施することで将来負担額の抑制に努めている。また財政調整基金及びその他特目基金の保有により、充当可能財源が将来負担額を大きく上回る状況にある。今後も財政安定化 プランに示している通り、適切な財政運営に努めるもの。

参考) H27 H28 H29 将来負担比率 当該団体値 有形固定資産減価償却率 59.0 60.4 51.2 将来負担比率 33.6 35.3 31.9 類似団体内平均値 有形固定資産減価償却率 60.4 60.8

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



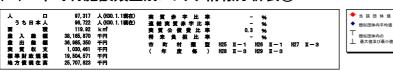
「将来負担比率と実質公債費比率は類似団体と比較して低い水準となっている。これは、継続的な繰上償還の実施により償還利子の軽減を図っているためである。 今後も、財政状況に応じて繰上償還を検討するとともに、事業費を精査したうえで計画的に地方債を発行し、将来負担額の増加の抑制に努めるもの。

(参考)								
	H25	H26	H27	H28	H29			
当該団体値	将来負担比率	-	-	-	-	-		
	実質公債費比率	0.3	0.2	0.4	0.8	0.3		
類似団体内平均値	将来負担比率	50.3	45.9	33.6	35.3	31.9		
	実質公債費比率	9.6	8.8	7.0	6.9	6.6		

(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

平成29年度

福岡県宗像市



- ※ 市町村額型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分額したものである。当該団体と同じグループに属する団体を額似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※ 額似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また額似団体が存在しない場合、額似団体内順位を表示しない。

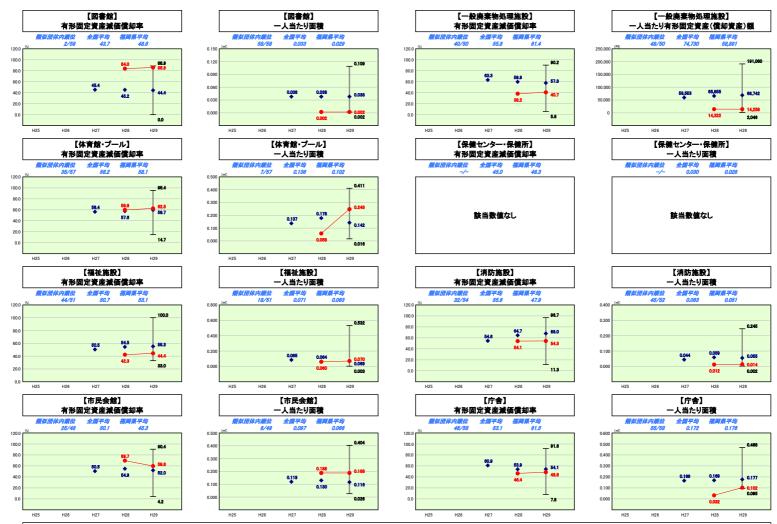


施設情報の分析機

類似団体と比較して特に有形固定資産減価償却率が高くなっている施設は、学校施設、認定こども圏・幼稚園・保育所である。学校施設については令和2年度、更新予定の宗像市アセットマネジメント推進計画及び平成30年度より取り組んでいる個別施設計画に基づき、適正な対策を講じているもの。 い、予定である、認定こども側・幼稚園・保育所の該当資産は、施設のみであるが、平成29年度に改修工事を実施しており、老朽化対策を講じているもの。



- ※ 市町村額型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分額したものである。当該団体と同じグループに属する団体を額似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※ 額似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また額似団体が存在しない場合、額似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析機

類似団体と比較して特に有形固定資産減価價却率が高くなっている施設は、図書館・市民会館であり、該当資産は主に宗像総合市民センターユリックスである。当該施設については、宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画に基づき、整備を行っている。また、令和2年度には宗像市公 共施設アセットマネジメント推進計画が更新となるため、優先度等見直し、更なる適正な整備を限っていく。